

エノコログサ

イネ科（別名：エノコロソウ、ネコジャラシ）

使用部位



池坊

使用量	(少ない) 必ずお稽古で使用する花材とは言えないが、1/4程度は年に1度お稽古で使用する
使用時期(お稽古)	8~10月に使用することが多い
本数	お稽古で一人あたり、5本程で使用する人が多い
葉、枝	50~70cm
特徴	初秋の風を感じる花材。葉先は切らずに出荷して欲しい。

小原流

この流派でよく使う種類	ネコジャラシ
使用量	(中程度) 年に1度位
使用時期(お稽古)	9~10月頃
本数	3~5本
花	30~40cm
特徴	コスモスなどと一緒に生ける。季節を感じる花材なので、1年に1度は使いたいと思う花材。

龍生流 *龍生派では古は古典花、自は自由花を指します。

この流派でよく使う種類	自：エノコログサ、ネコジャラシ
使用量	(少ない) 1/5のクラス 年1回程度
使用時期(お稽古)	6~8月
本数	5~7本
花	40~60cm
特徴	茎が細いため、ケンザン使用で手間取る。漂白のものは通年で取り合わせの一部として使用。花展作品では大量に使用される(自己採取が多い)。

生産者情報

産地名	地域	連絡先/担当	備考
浅野昭夫	茨城県水戸市	03-3799-5526 (市場) FAJ 切花部	8~10月

季節

夏

秋

入手困難

流通量(少)